

# 日本貨物航空株式会社

## CCH® Tagetik ケース スタディ



### お客様名

日本貨物航空株式会社：NCA

### 業種

国際航空貨物運送事業

### CCH® Tagetik の利用分野

- ・ ビジネスインテリジェンス
- ・ 収益管理
- ・ 予算管理

### 会社概要

- ・ 創業 1978年
- ・ 従業員900人以上
- ・ ボーイング747-8F型貨物専用機を保有
- ・ 日本とアジア・北米・欧州の各都市を結ぶ路線を貨物専用機で運航

### システム要件

- ・ 機能性の向上
- ・ レポーティングの迅速化
- ・ タイムリーなソリューションの提供

「CCH® Tagetik は、当社が求める要件をすべて満たしていました。まず、運航システムやERPから粒度の細かい情報を集めて管理できること、次にツール内の設定だけで採算計算の独自のロジックを組み込めること、三つ目が収支レポートの柔軟な設計ができるという点です。」

日本貨物航空株式会社 レベニューマネジメント部 管理会計チーム  
アシスタントマネジャー 下田 雅美氏

日本貨物航空株式会社 IT戦略部 業務システムチーム  
アシスタントマネジャー 坂上 智子氏

### 課題

国際航空貨物分野では、外的要因によって週単位でも収益が大きく変動することがあります。在庫を持たない業態である同社にとって、ビジネス上の重要なテーマとなるのが、前週の運航結果に基づき収支をタイムリーに把握すること。この採算管理業務は、同社のレベニューマネジメント部が担っています。毎週行われる会議では、マーケティング部門・営業部門とともに同レポートを見ながら、計画に対する実績を確認し、翌週以降の事業の方針確認および改善に向けた議論を実施します。2008年以降、NCAはシステムに組み込んだアドオンによって複数のソースからの入力を処理していましたが、データから関連情報を処理・出力する時間を短縮したいと考えていました。そして2020年末、新たな採算管理システム構築のパートナーとなるSier企業の提案の比較を開始しました。NCAとその親会社の両方にとって、スケジュールの遅れやレポーティングの中断を避けることが必要不可欠でした。

### 目的

NCAは、経営管理プラットフォームをベースに、事業の多角化に臨機応変に対応可能な新しい収益管理システムを求めていました。機動性と柔軟性を高めるために、独立したシステムを計画しました。

### ソリューション

2020年末、同社はソリューション構築のパートナーを選定するため、約10社に提案依頼書を発行しました。製品カテゴリとして、EPM(経営管理プラットフォーム)またはBI(ビジネスインテリジェンス)製品を軸とした提案を求めました。

### 効果と結果

- ・ 連携データの修正作業の迅速化
- ・ 週次レポートの高速化
- ・ Excelとのシームレスな統合によるレポート作成
- ・ 異常値の見逃しリスクの低減
- ・ より効果的なビジネス戦略立案
- ・ スケジュール通りのソリューション提供

**「連携データを修正し、1日のうちに  
何度か実行をする一連の処理が、  
15分から3分程度に短縮されました」**

日本貨物航空株式会社  
レベニューマネジメント部  
管理会計チーム  
アシスタントマネジャー  
下田 雅美氏

CCH® TagetikのパートナーであるTISは、CCH® TagetikのSaaS版をNCAに提案しました。このソリューションは、トップクラスの多機能性とスケーラビリティを備えています。NCAは、CCH® Tagetikの予算・計画と収益性管理・分析機能を採用しました。

CCH® Tagetikは、他の多くのビジネス情報ソリューションとは異なり、経営管理に特化した多くの標準機能と、迅速なレポート作成を可能にするExcelとのネイティブな統合機能を備えています。

### 効果と結果

CCH® Tagetikで構築した収益管理システムは、2022年4月より本稼働しており半年以上が経過した現在も安定的に稼働しています。収支計算に必要な情報を複数の社内システムから収集・整理するスピードが向上したことが、大きな効果となっています。CCH® Tagetikの収益管理システムの導入により、週報作成作業が半日短縮され、経営計画のPDCAサイクルが高速化されました。また、連携データを修正し、1日のうちに何度か実行をする一連の処理が、15分から3分程度に短縮されました。

以前は定例会議の席で配布していた収支レポートを、早ければ当日の午前中に、マーケティング担当者・営業担当者に渡せるようになりました。各メンバーはレポートに目を通し、翌週の対策を考えたり、今後の数字を予測する等の準備をした上で、夕方の定例会議に出席できるようになりました。今では、効率化に加えて、異常値を見落とすリスクも回避できるようになっています。CCH® TagetikとTISは協力して、このソリューションを迅速に導入しました。

今後、収支予測シミュレーションの活用も検討されています。国際航空貨物運送業であるNCAは、世界の経済状況や社会情勢など他律的な影響を受けやすく、採算の数字は大きく変動します。収支の予測シミュレーションにより、翌週以降の事業の方針確認および改善に向けた議論がしやすくなることが期待されています。

### お客様について

日本貨物航空株式会社 (NCA) は、1978年に設立された日本唯一の国際貨物専門航空会社です。ボーイング747-8F型貨物機8機を保有し、日本とアジア・北米・欧州の各都市を結んでいます。半導体、機械、自動車および関連部品、生鮮品、医療品、美術品など、さまざまな貨物を空輸し、世界のサプライチェーンを支えています。

[www.nca.aero](http://www.nca.aero)



「途中で設けられた検収では、  
いつまでにどの資料を用意すべきか、  
TISからの的確に指示をいただき、  
“ついていけば何とかなる”という  
安心感がありました」

日本貨物航空株式会社  
IT戦略部  
業務システムチーム  
櫻井 梨穂氏

## パートナー様について

TISインテックグループのTISは、金融、産業、公共、流通サービス分野など多様な業種3,000社以上のビジネスパートナーとして、お客様のあらゆる経営課題に向き合い、「成長戦略を支えるためのIT」を提供しています。50年以上にわたり培ってきた業界知識やIT構築力で、日本・ASEAN地域の社会・お客様と共創するITサービスを提供し、豊かな社会の実現を目指しています。

[www.tis.co.jp](http://www.tis.co.jp)



## ウォルターズ・クルワーについて

ウォルターズ・クルワー (WKL: Wolters Kluwer) は、医療、税務・会計、ガバナンス、リスク管理とコンプライアンス、法規制の部門に向けた専門的情報、ソフトウェアソリューションとサービスのグローバルリーダーです。深い専門知識と特殊技術・サービスを一つにした専門的ソリューションを提供して、顧客が日々の重要な意思決定を行えるようになります。

ウォルターズ・クルワーは、2021年の収益を48億6,000万ユーロと発表しました。同グループは180か国以上の顧客にサービスを提供し、40か国以上に業務を展開、世界中で約1万9,800人を雇用しています。同社はオランダのアルフェン・アーン・デン・レインに本部を置いています。

ウォルターズ・クルワーはユーロネクスト・アムステルダム (Euronext Amsterdam) に上場しており (WKL)、AEXとユーロネクスト100株価指数 (Euronext 100 indices) に含まれています。ウォルターズ・クルワーはレベル1米国預託証券 (ADR: American Depositary Receipt) プログラムのスポンサーを務めました。ADRは米国の店頭取引市場で取引されています (WTKWY)。